

# 施策評価シート（平成29年度実績評価）

## ◎ 施策の基本情報

総合計画 中期プラン	政策No.	1-5	政策名	農工商観連携の推進	政策の 目指す姿	多様な産業が連携し、高付加価値を創出しています	施策 主管課	定住推進課	施策主管 課長名	藤井保宏
	施策No.	2	施策名	特産品の開発	施策の 目指す姿	地場産品を活用し、付加価値の高い多くの商品を開発しています	関係課名	商工労政課、大迫地域振興課		
	現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国的なコンクールにおいて賞を受賞するワインや老舗醤油店のつゆなどのほか、付加価値の高い商品やサービスを生み出そうとする取り組みが行われています。</li> <li>・豊富にある地場産品の大部分は、生産者や加工業者等による従来の生産・加工・販売方法にとどまっており、農業者と商工流通業者の連携による付加価値の高い商品の開発・販売は十分でない状況です。</li> </ul>								

## ◎ 前年度の評価の振り返り

### （前年度評価時の今後の方向性）

- ・6次産業化については、製品の研究からマーケットの検証、生産、販促活動、販売など多くの過程があり、これまでに開拓した外食産業、大手百貨店、スーパー等のバイヤーとのネットワークを活かしながら、アドバイスをいただくとともに産業博覧会時に商談会を開催し、マッチングを図る。
- ・構造改革特区によるワイン・シードル等果実酒の製造について、供給量が不足している原材料の生産の拡大と併せて支援を行う。

### （反映状況）

- ・6次産業化については、取り組みに関して検討すべき内容が多いため、H29においては取り組むきっかけを作る機会を提供するセミナーを開催した。また、6次産業化についてバイヤーからのアドバイスを受ける場として産業博覧会時に商談会を開催したが、まだ商談を進めるまで6次産業化の成果が出ている新規事業者が少ない状況のため、6次産業化を志向する方の参加は少なかった。
- ・ワインの原材料となるぶどうについては、市の各種就農支援の効果により3人の新規就農者が現れるなど、減少傾向であった栽培面積の拡大が期待されている。

## 1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取組

### (1) 特産品開発と販路拡大の支援

- 地元の農畜産物を活用した商品開発の支援
    - ・花巻産農畜産物を活用した加工品の開発に係る一部を補助
  - 特産品の市内普及促進
    - ・花巻産農畜産物を活用した加工品の加工施設、加工設備、販売施設、提供施設の整備に係る経費の一部を補助
  - 特産品の情報発信と販路開拓支援
    - ・花巻産農畜産物を活用した加工品の広報宣伝、展示会出展等販路拡大に係る経費の一部を補助
  - ワインのブランド確立への取り組み支援
    - ・先進地研修や醸造技術研修補助の実施
  - 構造改革特区によるワイン・シードル等果実酒の製造支援
    - ・ワイナリー整備等に係る経費の一部を補助
- ### (2) 地域産業の情報発信
- 農林業、商工業、観光業の連携による幅広い情報発信
  - 花巻の産業を紹介する産業博覧会の開催
    - ・市内産業に対する市民の理解を深め、次代を担う子どもたちの市内産業への興味や職業観の醸成により、地元企業への就業意識の動機づけを図るため、「はなまき産業大博覧会」を開催

## 2 成果指標

成果指標名	成果指標設定の考え方 (なぜ、この指標で成果を測ることにしたのか)	成果指標の測定企画 (どのように実績を把握するのか)	単位	数値区分	H26	H27	H28	H29	H30	H31
					目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
新たに市の支援により地場産品の高付加価値化に取り組んでいる事業所数	地場産品を活用し、高付加価値に取り組むことで、農業所得が向上する効果を生み出し、地場産業が活性化していることを示す指標	出典：定住推進課6次産業推進室 (農工商連携補助事業により高付加価値化の取り組みを行っている事業所数)	社	目標値	6	6	6	6	6	6
				実績値	3	0	4	2		
地場産品の高付加価値化への取り組みを継続している事業所数	事業所が地場産品を活用し、高付加価値化の取り組みを継続している状況を示す指標	出典：定住推進課6次産業推進室 (農工商連携補助事業により行った高付加価値化の取組を継続している事業所数)	社	目標値	20	26	32	27	33	39
				実績値	17	17	21	14		

## 3 成果指標の達成状況

達成度	達成状況に関する背景・要因
D	<ul style="list-style-type: none"> <li>■「新たに市の支援により地場産品の高付加価値化に取り組んでいる事業所数」…【達成度c】 6社の目標に対し2社の実績で目標には達しなかったが、6次産業推進室が設置されたことなどから6次産業化に向けて事業に取り組もうとする方からの相談件数は15件あり、今後の増加が期待される。</li> <li>■「地場産品の高付加価値化への取り組みを継続している事業所数」…【達成度c】 販売不振、原材料調達困難などの理由により、事業継続を取りやめた事業所があった。(H29実績は、H28末時点の調査結果)</li> </ul>

#### 4 施策を構成する事務事業一覧

番号	事務事業名 事業内容(活動実績)	担当課	施策への貢献度		成果
			対象 直結度	意図 補完	
1	特産品開発・販路拡大事業 地元の農畜産物を活用した付加価値の高い新商品の開発と流通のため、商品開発や販路拡大等の支援を行った。 (農商工連携補助金交付件数 2件)	定住推進課6次産業推進室	一致	直結	C
			A		
2	産業情報発信事業 市民へ本市産業への理解の深化と産業振興の契機とすることを目的として開催した。併せて市内事業所と首都圏のバイヤーとの商談会を開催した。(来場者数31,000人、出展ブース数166小間、商談会参加事業所数13、バイヤー数6)	商工労政課	一致	間接・補完	C
			B		
3	地域産業安定化事業 大迫地域の産業振興の中心を担っている㈱エーデルワインと、原料を供給しているぶどう生産者の利益を守るとともに、市が同社株を保有することにより同社が安定的な資本関係の下で運営されることを目的として、同社株を紫波町から1,700株を取得した。《花巻市持ち株 H28:5,392(38.24%)⇒H29:7,092(50.29%)》	大迫地域振興課	一致	間接・補完	-
			B		
4-1	6次産業化推進事業 農業者等を対象とした6次産業化に関する研修会の開催と情報提供を行った。 (セミナー実施回数2回69名参加、関係セミナー等の周知8回)	定住推進課6次産業推進室	一致	直結	C
			A		
4-2	6次産業化推進事業(ワイン・シードルブランド化推進事業) ワイン・シードル生産を志向する方を支援するため、先進地研修の実施や醸造研修受け入れ補助などを行った。 (先進地研修参加者8名、醸造研修受け入れ1事業所4名、ワイナリー関係研修2回13名参加)	定住推進課6次産業推進室	一致	直結	C
			A		

#### 5 施策を構成する事務事業の検証

<p>(①市民ニーズや市の関与の必要性が低下した事業、②投入コストのわりに成果が低い事業、③施策への貢献度の低い事業はないか)</p> <p>・なし</p> <p>(施策の目標を達成するため、さらに成果の向上を図る事業はないか)</p> <p>・特産品開発・販路拡大事業…各種補助制度の周知を図るとともに6次産業化を志向する方の伴走支援を継続することが必要である。</p> <p>・6次産業化推進事業…新たに取り組もうとする方が一定数いるため、今後も事業化に向けたセミナーや個別相談会を開催することが必要である。</p> <p>(新たに取り組むべき事業はないか)</p> <p>・6次産業化に取り組もうとする方が実際に事業化を図ることができるようにするカリキュラム展開型の研修会の実施</p>
--

#### 6 施策の総合的な評価

<p>(課題)</p> <p>・今まで行ってきた単発型のセミナーでは、実際に取り組む際に何から始めたらよいかわからない状況である。</p> <p>・ワイン・シードル生産を志向する方の中には、ワイナリーを整備しようとする動きが出ており、初期投資を中心とした整備事業に対する支援が必要になっている。</p> <p>(今後の方向性)</p> <p>・6次産業化に取り組むには、生産から経営への意識の転換が必要なため、自らの経営資源を分析し、6次産業化計画を作成するセミナーを開催する。</p> <p>・特区認定を契機にワイン・シードル生産を志向する方が現れており、事業化に向けた各種支援を継続的に実施するとともに、大きな負担となる施設整備に対する補助の拡充を検討する。</p>
---